

さいたま市長メッセージ（令和2年4月16日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

緊急事態宣言から10日目となりました。国が発表しているデータによると、4月15日の大宮駅周辺の人通りは、感染拡大前に比べて、約56パーセント減少しています。皆様のご協力に深く感謝いたします。

国は、感染拡大の早期収束のためには、人と人との接触を8割減すことが必要だとの見解を示しています。市民の皆様には、もう一步踏み込んで、外出自粛等にご協力をお願いいたします。

本市の感染者数は、緊急事態宣言前後の1週間で比較すると、23人から38人と約1.7倍増加し、緊急事態宣言後も増加傾向が続いております。

感染者数の増加を受け、本市では、保健所の人員を20人増員し、また、PCR検査機器の追加購入や、運用の見直しによって、一日の検査件数を60件まで増やすなど、体制を強化いたします。

さらに、市内の医療機関の協力のもと、感染者のための病床を新たに50床確保しました。今後も市民の皆様の生命を守るため、関係機関と連携しながら、医療体制の強化に努めてまいります。

一方で、深刻化する市内経済への支援としては、市内の中小企業が、無利子・無担保・無保証料で資金を調達できる「新型コロナウイルス対応臨時資金融資」を創設しました。融資総額は50億円で、国の融資制度が開始

されるまで切れ目のない支援しえん おこなを行うものです。

皆様みなさまには大変たいへんなご不便ふべんをお掛けかしておりますが、一刻いっこくも早くはやこの感染症かんせんしょうに打ち勝うつため、力ちからを合あわせて頑張がんばっていきましょう。